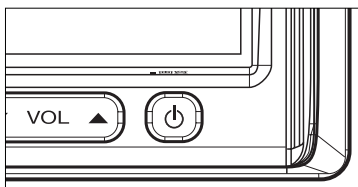


電源の入れ方・音量調整のしかた

オーディオ機能のオン・オフや音量の調整ができます。

1 電源の入れ方

オーディオの電源のオン・オフを行うことができます。



- (1) エンジンスイッチを I (ACC) または II (ON) にします。
- (2)  を押すと電源がオンになります。
 -  スイッチをもう一度押すと電源はオフになります。

2 音量調整のしかた

音量の調整を行うことができます。



- (1) VOL ボタンで音量を調整します。
 - VOL 「▲」またはVOL 「▼」を押します。



お知らせ

- VOL ボタンは短く押すと1ステップずつ音量が変わり、長く押すと手をはなすまで音量が変わり続けます。
- ボリュームが最大（最小）になると、それ以上の音量は変わりません。
- テレビ、iPod、AUXのボリュームは、その他のオーディオのボリュームとは別に調整することができます（P.7-16、P.7-63、P.7-74参照）。



走行中の操作は安全運転に支障がないよう十分注意して行ってください。
また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



お知らせ

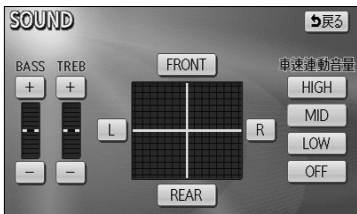
オーディオを聞いているときに、車内または車の近くでデジタル携帯電話を使用した場合、オーディオのスピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがあります。故障ではありません。

音の調整

前後左右の音量や音質の調整を行ったり、自動で音量を調節するレベルを設定することができます。

1 前後音量／左右音量を調整するには

音量のバランスを調整することができます。



(1) 各モードの操作画面を表示させているときに **SOUND** にタッチします。

■ 前後音量を調整する

前側音量を強調する場合は **FRONT**、後側音量を強調する場合は **REAR** にタッチします。

■ 左右音量を調整する

右側音量を強調する場合は **R**、左側音量を強調する場合は **L** にタッチします。

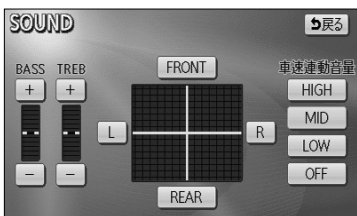
■ 音質を調整する

低音（BASS）を強調する場合は **+**、弱めるときは **-** にタッチします。

高音（TREB）を強調する場合は **+**、弱めるときは **-** にタッチします。

2 自動で音量を調整するには

自車の走行速度に応じて音量を自動的に大きくしたり、小さくしたりすることができます。



(1) **LOW**・**MID**・**HIGH** のいずれかにタッチして、自動的に調整されるレベルを設定します。

- ・ **LOW** にタッチすると、自車の速度が上がると少しだけ音量を上げます。
- ・ **MID** にタッチすると、自車の速度が上がると **LOW** のときよりも音量を上げます。
- ・ **HIGH** にタッチすると、自車の速度が上がると **MID** のときよりも音量を上げます。

- **OFF** にタッチすると、車速連動音量をしない設定にします。

！ アドバイス

速度が速いときに車外からの騒音が大きくなり、車内のオーディオの音量が聞き取りにくいという場合に使用すると便利です。

テレビ・オーディオの切り替え

1 テレビ・オーディオの切り替え方

以下の操作でオーディオモードを切り替えることができます。



(1) を押します。

- オーディオ操作画面が表示されます。
- 画面左にオーディオシンプルメニューが表示されます。

(2) オーディオモードを選んでタッチします。

- **AM** AMラジオに切り替わります。
- **FM** FMラジオに切り替わります。
- **TV** 地上デジタルテレビに切り替わります。
- **DISC** ディスク*1に切り替わります。
- **AUX** AUXに切り替わります。
- **VTR** VTR*2に切り替わります。
- **iPod** iPod*2に切り替わります。
- 交通情報に切り替わります。

*1 CD、MP3/WMAが該当します。挿入されたメディアによって表示が異なります。

*2 機器を接続時のみ表示します。

●オーディオシンプルメニューに選択したいオーディオモードがない場合



(1) **その他** にタッチします。

- オーディオシンプルメニューに表示されていないオーディオモード全てを表示します。

(2) オーディオモードを選んでタッチします。

！ アドバイス

オーディオシンプルメニューは、4つのオーディオモードを自由に設定することができます。設定の方法については、次ページの「オーディオシンプルメニューをカスタマイズするには」を参照してください。

●オーディオシンプルメニューをカスタマイズするには

オーディオシンプルメニューには、よく使うオーディオスイッチを表示することができます。



(1) を押します。

●オーディオ操作画面が表示されます。

(2) **その他** にタッチします。

●オーディオメニュー画面が表示されます。



(3) **スイッチカスタマイズ** にタッチします。

●オーディオシンプルメニューカスタマイズ画面が表示されます。



(4) 既に設定されてるスイッチの中から、変更したい機能にタッチします。

●タッチした機能の設定が解除され、オーディオシンプルメニューからスイッチが消去されます。



(5) オーディオシンプルメニューに表示したい機能を選択します。

●選択した機能は、タッチした順番に空白スイッチ位置の上から設定されます。

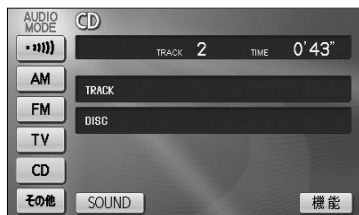
(6) **完了** にタッチします。

！アドバイス

- オーディオシンプルメニューには必ず4つの機能を設定する必要があります。このため、4つの機能を選択していない場合、**完了** が反転して操作できません。
- VTR** は販売店装着オプションのVTRコードが接続されていないと表示・選択できません。
- iPod** はiPod本体が接続されていないと表示・選択できません。

2 オーディオ操作画面について

●オーディオ操作画面を表示するには



(1)  を押します。

- 選択されているオーディオモードの操作画面を表示します。

●オーディオ操作画面の表示設定を行うには

オーディオ操作画面を表示させてから一定時間後に表示を解除して元の画面に戻るか、表示をそのまま継続するかの設定ができます。

詳細は、P.1-30の **2** 「画面の表示設定をするには」を参照してください。

●各オーディオモードの操作画面

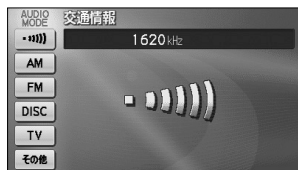
AM (P.7-44参照)



FM (P.7-44参照)



交通情報 (P.7-47参照)



CD (P.7-48参照)



MP3/WMA (P.7-51参照)



デジタルテレビ (P.7-16参照)



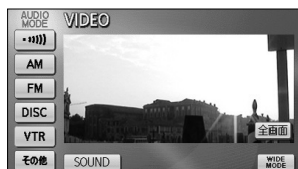
AUX※1※2 (P.7-73参照)



iPod※1※2 (P.7-62参照)



VTR※1※2 (P.7-43参照)



※1 接続する各機器は、別途お買い求めください。

※2 接続コードは販売店オプション。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

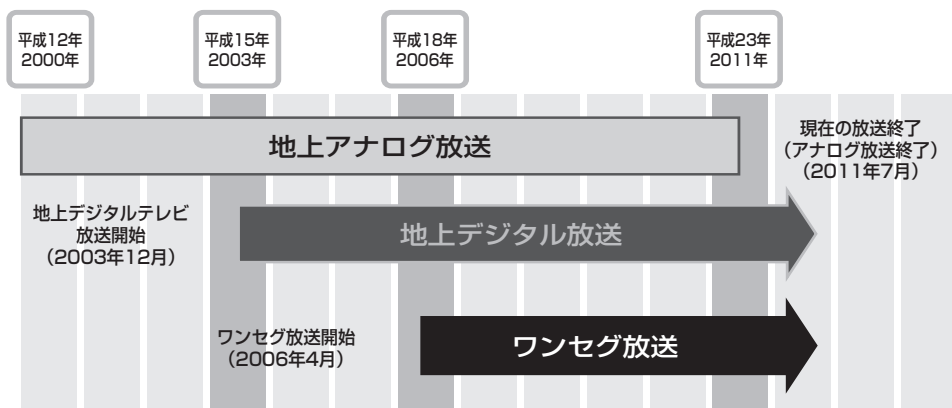
テレビ・オーディオの切り替え

テレビ・オーディオ

地上デジタルテレビをお使いになる前に

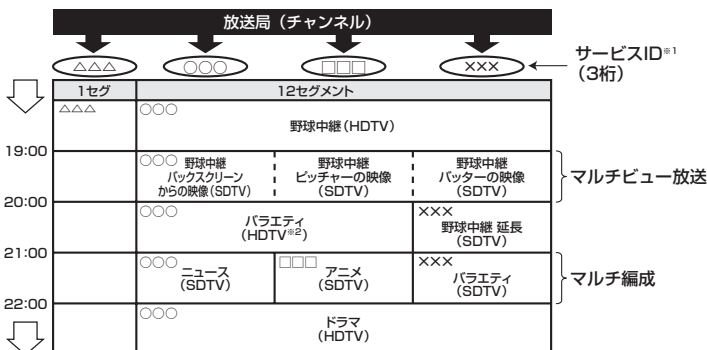
地上デジタル放送について

地上デジタル放送は、UHF帯の電波を使って行う放送で、関東・中京・近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始されました。今後も受信可能エリアは、順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。



地上デジタル放送では1つのチャンネルが、13の「セグメント」という単位で分割されています。そのうち12セグメントを使ってハイビジョン映像（HDTV）や、標準映像（SDTV）の番組を提供しています。

標準映像は1つのチャンネルで複数の番組を同時に提供することができます（マルチ編成）。残りの1セグメントは、移動体向けのワンセグ放送に使用されます。



※1 サービス内容によって、サービスIDが変更、追加される場合があります。

※2 標準映像の番組も同時に放送しているため、12セグメントを使用したハイビジョン映像より低画質となります。

サービスID・リモコンチャンネルの表示について

本機は受信している番組を、サービスID^{※1}で表しています。また、リモコンチャンネル^{※2}も表示します。

※1 サービスIDとは各放送局に割り当てられた2桁のチャンネル番号と、1桁のサービス番号を組み合わせたチャンネルのことをいいます。

（地上デジタル放送では1つのチャンネル（放送局）で複数の番組（サービス）を同時に放送することができます。サービスIDとは、これらの番組（サービス）を区別するための番号です。）

※2 リモコンチャンネルとは、家庭のテレビなどのリモコンに割り当てられているチャンネル（放送局）のことです。



！ アドバイス

- サービスIDの切り替えについてはP.7-17の**3**の「●TUNE・TRACKボタンで選ぶには」を参照してください。
- リモコンチャンネルの切り替えについてはP.7-17の**3**の「●プリセットスイッチで選ぶには」を参照してください。

地上デジタルテレビをお使いになる前に

テレビ・オーディオ

ワンセグについて

「ワンセグ」とは、携帯、移動体端末向け地上デジタル放送サービスの名称です。
13セグメントのうち1セグメントを使うため、このように命名されました。

		1チャンネル (13セグメント)												
地上デジタル放送		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
地上デジタル 放送	(HDTV放送時)													
	(SDTV放送時)													
ワンセグ														

地上デジタルテレビをお使いになる前に



注意

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- ・ AVC規格に準拠する動画(以下、AVC ビデオ)を記録する場合
- ・ 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
- ・ ライセンスをうけた提供者から入手されたAVC ビデオを再生する場合

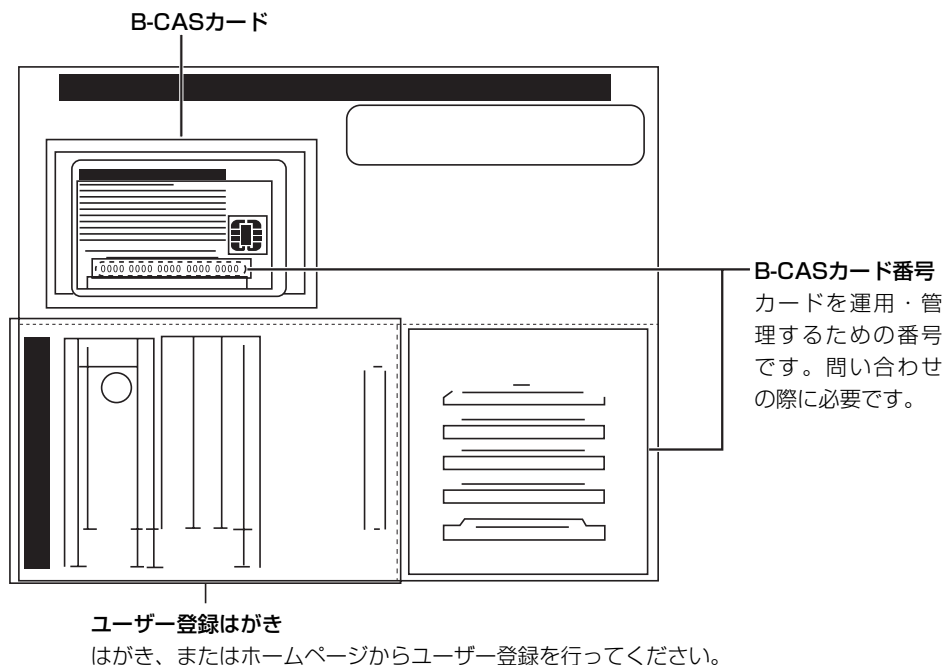
詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

<http://www.mpegla.com>

B-CASカードについて

●B-CASカードとは

B-CASカードとは、デジタル放送の番組の著作権保護などに利用するカードです。地上デジタル放送を受信するときは、必ずB-CASカードを本機に差し込む必要があります。B-CASカードの動作確認についてはP.7-36を参照してください



地上デジタルテレビをお使いになる前に

テレビ・オーディオ

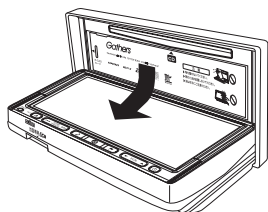


アドバイス

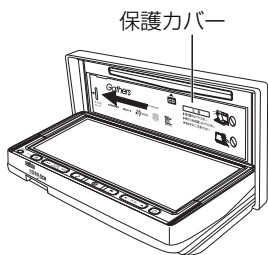
- より詳しい情報は、<http://www.b-cas.co.jp>をご覧ください。
- バス・タクシーなど、不特定または多数の人を視聴の目的とした業務用途には使用できません。
- 車を手放す際のカードの取り扱いについては、販売店にご相談ください

B-CASカードの出し入れ

1 B-CASカードの入れ方



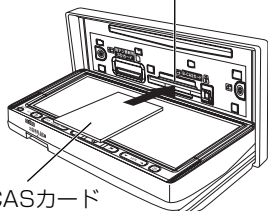
- (1) を押します。
●ディスクの出し入れを行う画面が表示されます。



- (2) **DISPLAY OPEN** にタッチします。
●ディスプレイ部が開きます。

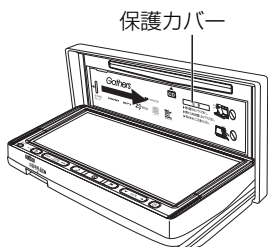
- (3) 保護カバーを左にスライドし、引き上げた後、手前に引いて保護カバーを取りはずします。

B-CASカード差し込み口



- (4) B-CASカード差し込み口にB-CASカードを差し込みます。
●B-CASカードは、カードの矢印表示面を上面にして差し込んでください。

B-CASカード

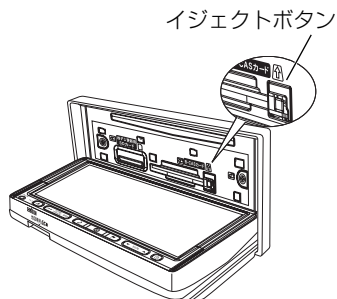


- (5) 保護カバーをはめ込み、右にスライドさせて保護カバーを取り付けます。
- (6) B-CASカードの動作確認をします。
●B-CASカードの動作確認は必ず行ってください。
詳しくは、P.7-36を参照してください。



B-CASカード以外のものを差し込まないでください。故障や破損の原因となります。

2 B-CASカードの取り出し方



(1) ディスプレイ部を開けます。(P.7-11の**1**参照)

(2) 車のエンジンスイッチを0 (OFF) にします。

(3) 保護カバーを取りはずします。(P.7-11の**1**参照)

(4) イジェクトボタンを押し、B-CASカードをゆっくりと引き出します。

(5) 保護カバーをはめ込み、右にスライドさせて保護カバーを取り付けます。(P.7-11の**1**参照)



注意

- ご使用中は、B-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- SDカードスロットは販売店専用です。SDカードスロットには何も差さないでください。

地上デジタルテレビをお使いになる前に

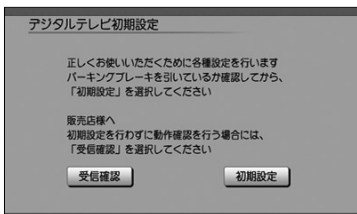
テレビ・オーディオ

初回起動時の設定

正しくお使いいただくために、ご購入後初めてデジタルテレビをお使いになる前に、居住地域の設定、受信チャンネルの設定、B-CASカードの動作確認を行います。画面の指示に従って初期設定を行ってください。

1 初期設定を行うには

●居住地域の設定



(1) デジタルテレビを初めてお使いいただく際に表示される初期設定画面で **初期設定** にタッチします。

●郵便番号を設定する画面が表示されます。

！ アドバイス

受信確認 は本機を販売店で車に取り付ける際、デジタルテレビ放送のアンテナ入力レベルを確認するために使用します。

(2) 自宅の郵便番号を1文字ずつタッチして入力します。

(3) **決定** にタッチします。

●県域の設定をする画面が表示されます。

(4) 左の画面から自宅のある地方にタッチします。

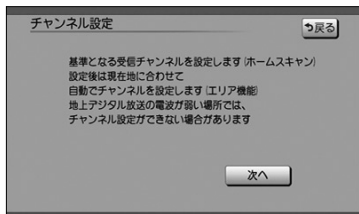
(5) 右のリストから自宅のある都道府県にタッチします。

●チャンネルを設定する画面（P.7-14参照）が表示されます。

！ アドバイス

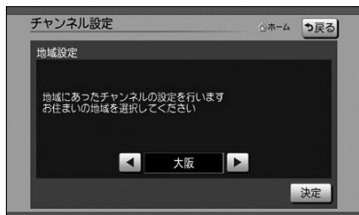
- 県域を設定する画面は郵便番号の入力に応じて、地方と都道府県が強調表示されます。
- 伊豆、小笠原諸島地域は「沖縄・その他の島部」の「東京都島部」をお選びください。
- 南西諸島鹿児島県地域は「沖縄・その他の島部」の「鹿児島県島部」をお選びください。
- 引越しなどで居住地域の設定を変更したいときは、P.7-40「**3** 地域を設定する」を参照してください。

●チャンネルの設定



(1) **次へ** にタッチします。

●チャンネル設定の地域を選択する画面が表示されます。



(2) **◀** または **▶** にタッチして地域を切り替えます。

(3) **決定** にタッチします。

●自宅のある地域で受信できる地上デジタル放送の放送局をスキャンし、スキャン終了後、リストが表示されます。



(4) 正しく選ばれていることを画面で確認し、**決定** にタッチします。

●B-CASカードの動作を確認する画面 (P.7-36参照) が表示されます。

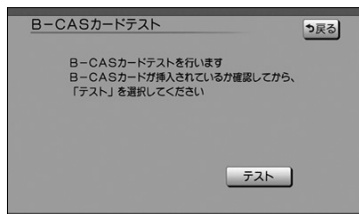
●**▲** または **▼** にタッチして、変更したいチャンネル番号を選択します。

●**◀** または **▶** にタッチして、放送局を変更します。

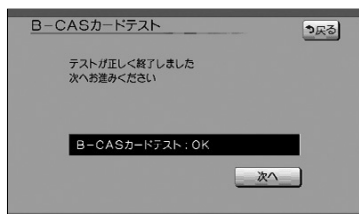
! アドバイス

- 受信される地域によっては一覧表を表示するまで約5分程度かかる場合があります。
- 引越しなどでチャンネルを再度設定したいときは、P.7-20「**1** ホームモードでチャンネルを設定するには」を参照してください。

●B-CASカードの動作確認



(1) **テスト** にタッチします。

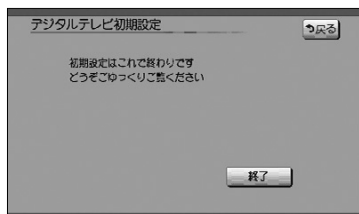


(2) テストが正しく終了したときは **次へ** にタッチします。



アドバイス

B-CASカードの異常を検出したときは、お買い上げの販売店にご相談ください。



(3) **終了** にタッチし、初期設定を終了します。

地上デジタル放送を見るには

本機で地上デジタル放送を楽しむことができます。

●デジタルテレビ操作画面



1 デジタルテレビを見るには



(1) **TV** を押して **TV** にタッチします。

- オーディオシンプルメニューに **TV** を設定していない場合は、**その他** にタッチしてから **TV** にタッチします (P.7-3の**1**参照)。
- デジタルテレビ放送の音声に切り替わります。
- 車が停車しているときはデジタルテレビ映像が表示されます。

地上デジタル放送を見るには

！ アドバイス

- 初めてお使いになる場合または個人情報の消去を行った後は、初期設定 (P.7-13参照) を行います。
- デジタルテレビモード中に音量を調整すると、デジタルテレビモード用の音量レベルとして記憶させることができます。
- 安全のため、車を停車した場合のみデジタルテレビ映像をお楽しみいただけます。
- 走行中は安全のため、デジタルテレビ映像が消え、音声だけになります。
- B-CASカードが正しく挿入されていない場合、映像と音声が出ません。
- 本機を起動した直後は、すぐに映像が映らないことがあります。
- 電波の受信状態が悪くなった場合、画面が静止して音声が出なくなることがあります。

フ
レ
ビ
・
オ
ー
デ
ィ
オ

2 デジタルテレビの操作画面を表示するには



(1) 音声デジタルテレビのときに  を押します。

●デジタルテレビ操作画面が表示されます。

3 選局するには

選局するには「TUNE・TRACKボタン」、「プリセットスイッチ」、「選局パネル」、「番組表」があります。

●TUNE・TRACKボタンで選ぶには



(1)  の左右を押します。

●押すたびに番組を順々に切り替えます。

●プリセットスイッチで選ぶには



(1) デジタルテレビ操作画面（P.7-16参照）でプリセットスイッチにタッチして選局します。

●それぞれのスイッチに記憶されたチャンネルがワンタッチで選局されます。

●**全画面** または映像にタッチするとデジタルテレビ映像が表示されます。

●選局パネルで選ぶには



(1) デジタルテレビ画面、またはデータ放送画面にタッチします。

●本機に設定されたチャンネルと、現在放送中の番組のタイトルを一覧表示します。

●チャンネルが7つ以上のときは ▲ または ▼ にタッチすると、リストのページを切り替えます。

● **d操作** にタッチすると操作パネル (P.7-31参照) を表示します。

● **番組表** にタッチすると番組表 (P.7-27参照) を表示します。

● **番組内容** にタッチすると番組内容 (P.7-29参照) を表示します。

(2) 見たいタイトル (番組) にタッチして選局します。

●映像小画面にタッチするとデジタルテレビ映像が表示されます。

●番組表で選ぶには

番組表からの選局についてはP.7-27「番組表を見るには」を参照してください。

！ アドバイス

- ひとつの放送局で複数の番組が放送されているときは、同じリストに続けてタッチすると、番組を切り替えられます。
- ひとつの放送局で同じ番組を放送している場合があります。
- 選局パネルを呼び出すときは、操作パネルを消してください。

4 プリセットモードを切り替えるには



(1) デジタルテレビ操作画面 (P.7-16参照) で **おでかけ** または **エリア** にタッチして切り替えます。

- **おでかけ** にタッチするとプリセットモードがおでかけに切り替わります。
- もう一度 **おでかけ** にタッチするとプリセットモードがホームに切り替わります。
- **エリア** にタッチすると現在地付近で放送されているチャンネルを設定します。
- もう一度 **エリア** にタッチするとエリアプリセットを解除します。

！ アドバイス

- プリセットモードについては「チャンネルを設定するには」を参照してください。(P.7-20)
- プリセットモードがホームに設定されているときは **エリア** にタッチできません。 **おでかけ** をタッチしてから **エリア** にタッチしてください。
- デジタルテレビ操作画面 (P.7-16参照) から **設定** をタッチした後の画面からでもエリアに切り替えることができます。(P.7-25参照)

チャンネルを設定するには

プリセットモードについて

プリセットモードは「ホーム」、「おでかけ」の2つを状況に合わせて変更することができます。

プリセットモード	説明
ホーム	自宅周辺に車があるときは「ホーム」に設定してください。自宅周辺のチャンネルを設定します。
おでかけ	旅行などのお出かけ先では「おでかけ」に設定してください。ホームとは別にお出かけ先のチャンネルを設定します。自宅周辺に帰ってきたときはホームの設定に戻すことができます。

1 ホームモードでチャンネルを設定するには

初期設定でいくつかのチャンネルが設定されますが、状況に合わせて変更することができます。ホームモードには「初期スキャン」、「再スキャン」、「マニュアル」があります。

設定方法	説明
初期スキャン	今までのホームモードのチャンネル設定をリセットし、チャンネルを再設定します。引越しなどにより自宅周辺で受信できる※1チャンネルが変わったときに選択します。
再スキャン	今までのチャンネル設定に加えて、新たに受信できる※1チャンネルを追加します。自宅に隣接した地域で受信できる※1チャンネルを追加したいときに選択します。
マニュアル	チャンネル設定を修正したいときに選択します。

※1 受信できないチャンネルが設定されることがあります。

●ホーム初期スキャンでチャンネルを設定するには



(1) デジタルテレビ操作画面（P.7-16参照）で **設定** にタッチします。

(2) プリセットモードがおでかけに設定されているときは **ホーム** にタッチします。

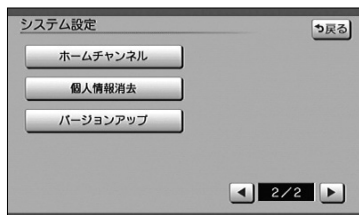
(3) **情報・設定** にタッチします。



(4) **システム設定** にタッチします。

チャンネルを設定するには

テレビ・オーディオ

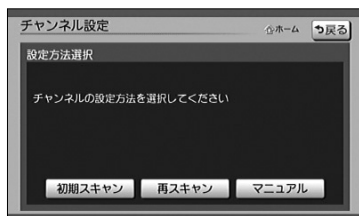


- (5) **ホームチャンネル** にタッチします。



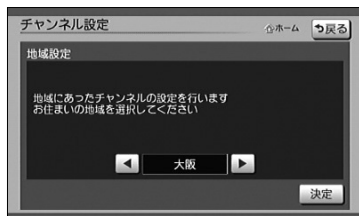
アドバイス

プリセットモードがおでかけになっていると、**ホームチャンネル** スイッチが反転して操作できません。



- (6) **初期スキャン** にタッチします。

- **再スキャン** にタッチすると自宅に隣接した地域で受信できるチャンネルを追加することができます (P.7-22参照)。
- **マニュアル** にタッチするとチャンネル設定を修正することができます (P.7-22参照)。



- (7) **◀** または **▶** にタッチしてお住まいの地域に切り替えます。

- (8) **決定** にタッチします。

- 現在受信できる地上デジタル放送の放送局をスキャンし、スキャン終了後、リストが表示されます。



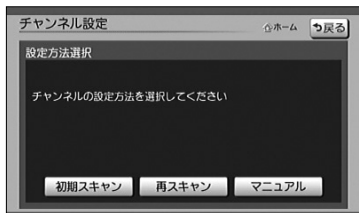
- (9) 正しく選ばれていることを画面で確認し、**決定** にタッチします。

- 修正したい場合は、P.7-22「●チャンネル設定を修正するには」の(2)を参照してください。

チャンネルを設定するには

7
テレビ・
オーディオ

●ホーム再スキャンでチャンネルを設定するには



(1) P.7-21の(6)の画面で **再スキャン** にタッチします。

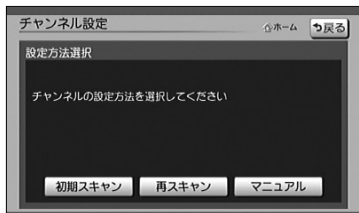
- 現在受信できる地上デジタル放送の放送局をスキャンし、スキャン終了後、新たに受信できた放送局が追加されたリストを表示します。



(2) 正しく選ばれていることを画面で確認し、 **決定** にタッチします。

- 修正したい場合は、「●チャンネル設定を修正するには」の(2)を参照してください。

●チャンネル設定を修正するには



(1) P.7-21の(6)の画面で **マニュアル** にタッチします。

- 現在設定されているチャンネルのリストが表示されます。



(2) ▲ または ▼ にタッチして、修正したいチャンネル番号を選択します。

(3) ◀ または ▶ にタッチして、放送局を変更します。

(4) **決定** にタッチします。

チャンネルを設定するには

テレビ・オーディオ

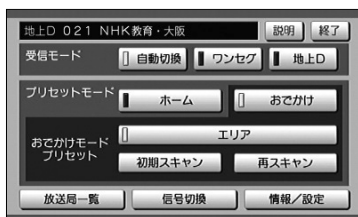
2 おでかけモードでチャンネルを設定するには

おでかけモードには「初期スキャン」、「再スキャン」、「エリア」があります。

設定方法	説明
初期スキャン	今までのおでかけモードのチャンネル設定をリセットし、チャンネルを再設定します。おでかけ先で受信できる※1チャンネルを設定したいときに選択します。
再スキャン	今までのおでかけモードのチャンネル設定に加えて、新たに受信できる※1チャンネルを追加します。おでかけ途中で受信できる※1チャンネルを追加したいときに選択します。
エリア	現在地付近で放送されているチャンネルを設定します。お車の移動に合わせてチャンネルの設定が切り替わります。

※1 受信できないチャンネルが設定されることがあります。

●おでかけ初期スキャンでチャンネルを設定するには



(1) デジタルテレビ操作画面 (P.7-16参照) で **設定** にタッチします。

(2) **初期スキャン** にタッチします。

●おでかけ初期スキャンが開始されます。

●進行状況が確認できます。

●スキャン中に **中止** にタッチするとスキャンが中断されます。

●スキャン終了後、設定されたチャンネル (放送局) のリストが表示されます。



(3) **終了** にタッチします。

●デジタルテレビ映像が表示されます。



！ アドバイス

デジタルテレビ操作画面（P.7-16）でピッと音が鳴るまで **おでかけ** にタッチしても、おでかけ初期スキャンが開始されます。

●おでかけ再スキャンでチャンネルを設定するには



(1) デジタルテレビ操作画面（P.7-16参照）で **設定** にタッチします。

(2) **再スキャン** にタッチします。

●おでかけ再スキャンが開始されます。

●進行状況が確認できます。

●スキャン中に **中止** にタッチするとスキャンが中断されます。

●スキャン終了後、設定されたチャンネル（放送局）のリストが表示されます。



(3) **終了** にタッチします。

●デジタルテレビ映像が表示されます。



チャンネルを設定するには

フテレビ・
オーディオ

●エリアでチャンネルを設定するには（エリアプリセット）



(1) デジタルテレビ操作画面（P.7-16参照）で **設定** にタッチします。

(2) **エリア** にタッチします。

- 作動表示灯が点灯し、エリアプリセットがONになります。
- 現在地付近で放送されているチャンネルを設定します。
- もう一度 **エリア** にタッチするとエリアプリセットが解除されます。

！ アドバイス

- エリアプリセットに設定している時は、チャンネル設定が現在地に合わせて自動的に更新されます。
- デジタルテレビ操作画面からでもエリアプリセットを設定することができます。（P.7-19参照）
- 放送エリア拡大中の為、地域によっては放送が開始されておらず、受信できないチャンネルが設定される場合があります。
- エリアプリセットに登録されている放送局のチャンネルは2008年秋現在のデータに基づいて作成しております。このため、登録されているチャンネルと異なるチャンネルで放送が開始された場合や、データに登録されていない放送局は受信できません。

3 設定されているチャンネル（放送局）を確認するには



(1) デジタルテレビ操作画面（P.7-16参照）で **設定** にタッチします。

(2) **放送局一覧** にタッチします。

- 現在設定されているチャンネル（放送局）のリストが表示されます。



受信モードを切り換えるには

受信モードについて

以下の3通りの受信モードを設定することができます。

設定方法	説明
自動切換	地上デジタル放送のチャンネルを視聴中に、受信状況が悪化したときには、自動的にワンセグのチャンネルに切り換え、地上デジタル放送が受信できる状況になれば、自動的に地上デジタル放送のチャンネルに切り換えます。
ワンセグ	携帯電話などの移動体端末向け地上デジタル放送を受信します。 地上デジタル放送の受信状況が悪いときにご使用ください。
地上D	通常の地上デジタル放送を受信します。 ワンセグ放送は受信できなくなります。

1 受信モードを切り換えるには



(1) デジタルテレビ操作画面（P.7-16参照）で **設定** にタッチします。

(2) **自動切換**、**ワンセグ** または **地上D** にタッチします。

●受信モードがタッチしたモードに切り換わります。

！ アドバイス

- 自動で切り換わった番組が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
- 自動で切り換わった番組の映像や音声が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
- ワンセグ放送を実施していない放送局をご覧になっている場合、受信モードを自動切換にしても、ワンセグに切り換わりません。

番組表を見るには

1 番組表を表示する

●番組表を呼び出すには



(1) デジタルテレビ画面、またはデータ放送画面にタッチします。

●本機に設定されたチャンネルと、現在放送中の番組のタイトルを一覧表示します。

●チャンネルが7つ以上のときは **▲** または **▼** にタッチすると、リストのページを切り替えます。



(2) **番組表** にタッチします。

●番組表が表示されます。

2 見たい番組を探す

●番組表をスクロールするには



● **▲ 時間** にタッチすると、番組表の放送時間が戻ります。

● **▼ 時間** にタッチすると、番組表の放送時間が進みます。

● **◀ チャンネル** または **チャンネル ▶** にタッチすると、チャンネル（サービス）が切り替わります。

番組表を見るには

7
テレビ・
オーディオ

●別の日の放送の番組表を見たいとき



- (1) **前日** にタッチすると前日、**翌日** にタッチすると翌日の番組表を表示します。

●番組表を拡大、縮小したいとき



- (1) **拡大** にタッチすると拡大（3チャンネル表示）、**縮小** にタッチすると縮小（5チャンネル表示）します。

！ アドバイス

- 受信可能な放送局で番組情報が表示されない場合は、その番組情報欄にタッチすると番組情報が表示され、映像小画面がタッチした放送局になります。（数分かかることがあります）
- 番組表の緑線部分には、短い番組が存在します。タッチすると番組が表示されます。
- 映像小画面にタッチすると、デジタルテレビ映像を表示します。
- 放送局名にタッチすると、タッチした放送局の映像を映像小画面に表示します。
- 地上デジタル放送で表示されるのは最大8日分、ワンセグで表示されるのは最大で10番組です。
- 現在の時刻より前の時間や日付の番組表は見れません。

番組内容を見るには

1 番組内容を見るには

番組内容を選局パネルまたは番組表から呼び出すことができます。

●選局パネルから番組表を呼び出すには



(1) デジタルテレビ画面、またはデータ放送画面にタッチします。

●本機に設定されたチャンネルと、現在放送中の番組のタイトルがリスト表示されます。

●受信できるチャンネルが7つ以上あるときは、**▲** または **▼** でページを切り替えられます。

(2) 番組内容を知りたいタイトルにタッチします。

●映像小画面がタッチした番組に切り替わります。

●同一チャンネルに複数の番組が放送されている場合は、タイトルにタッチする毎に番組が切り替わります。

(3) **番組内容** にタッチします。

●番組内容が表示されます。

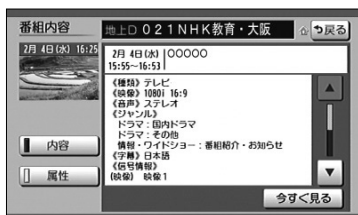
●**今すぐ見る** にタッチすると、選択した番組の映像に切り替わります。



(4) 番組の詳しい内容（属性）を見たいときは **属性** にタッチします。

●番組の詳しい内容が表示されます。

●**内容** にタッチすると、番組内容が表示されます。



アドバイス

電源を入れた直後は、番組内容が表示されるまで時間がかかる場合があります（約1分程度）。

●番組表から番組内容呼び出すには



- (1) 選局パネル画面 (P.7-18参照) で、**番組表** にタッチします。

●番組表を表示します。番組表の操作方法については P.7-27を参照してください。

- (2) 番組内容を知りたい番組、または **番組内容** にタッチします。

●番組内容が表示されます。

●**今すぐ見る** にタッチすると、選択した番組の映像に切り替わります。

！ アドバイス

今すぐ見る は現在放送している番組の内容を表示しているときのみ表示されます。



- (3) 番組の詳しい内容 (属性) を見たいときは **属性** にタッチします。

●番組の詳しい内容が表示されます。

●**内容** にタッチすると、番組内容が表示されます。



データ放送を見るには

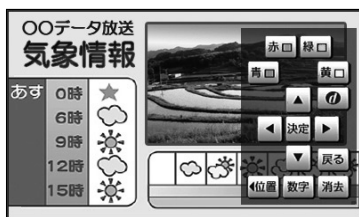
1 データ放送を見るには

データ放送とはテレビ映像のほかに、図形や文字の情報を付加した放送です。受信するデータ放送により、番組に連動した情報もしくは独立した情報を見ることができます。



(1) 選局パネル画面 (P.7-18参照) で **d 操作** にタッチします。

- 操作パネルが表示されます。
- 消去** にタッチすると操作パネルを消去します。

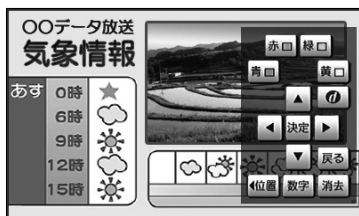


(2) **d** にタッチします。

- データ放送が表示されます。
- データ放送表示中に **d** にタッチ、もしくは選局を行うと、データ放送を終了します。

2 データ放送を操作するには

画面に表示される説明に従い操作すると、さまざまな情報を見ることができます。データ放送は操作パネルで操作します。操作方法はデータ放送により異なります。



(1) 選局パネル画面 (P.7-18参照) で **d 操作** にタッチします。

- 操作パネルが表示されます。
- カーソルの上下左右や決定、カラーボタン (青、赤、緑、黄) の操作を行うことができます。
- データ放送の番組で文字入力欄にカーソルを移動させると、自動的に画面キーボード (P.7-32参照) を表示します。

●数字パネルを操作する



- (1) 操作パネルで **数字** にタッチすると、数字パネルが表示されます。

- データ放送の番組で数字入力を受け付ける画面を表示しているときは、数字が入力できます。
- **操作** にタッチすると操作パネルの表示に戻ります。
- **消去** にタッチすると操作パネルを消去します。

●パネルを移動する



- (1) 操作パネルまたは数字パネルで **位置** にタッチします。

- パネルの表示位置が左/右に切り替わります。

●文字を入力する



- (1) データ放送の番組で文字入力欄にカーソルを移動させます。

- 自動的に画面キーボードが表示されます。

- (2) 文字を入力します。

- 入力方法はP.4-27～P.4-28を参照してください。

- (3) **完了** にタッチします。

！アドバイス

- データ放送の情報量が多いときは、表示に時間がかかります。
- 本機は双方向データサービス（クイズやテレビショッピングに視聴者がリアルタイムで参加できるサービス）には対応しておりません。
- ワンセグのデータ放送・文字スーパーには対応しておりません。

信号を切り換えるには

1つのチャンネルに複数の映像や音声があるとき、それぞれの信号を切り換えることができます。

1 画像を切り換えるには

1つのチャンネルに映像が複数ある放送を受信したとき、映像を切り換えることができます。



(1) デジタルテレビ操作画面（P.7-16参照）で **設定** にタッチします。

(2) **信号切換** にタッチします。

●信号切換画面が表示されます。

(3) 信号切換画面で、映像欄の ◀ または ▶ にタッチします。

●映像が切り換わります。

(4) **終了**、または映像にタッチすると、元の画面に戻ります。

2 音声を切り換えるには

1つのチャンネルに音声複数ある放送を受信したとき、音声を切り換えることができます。



(1) 信号切換画面で、音声欄の ◀ または ▶ にタッチします。

●音声が切り換わります。

(2) **終了**、または映像にタッチすると、元の画面に戻ります。

3 マルチビューを切り換えるには

マルチビュー放送とは、1つのチャンネルで主番組、副番組の複数映像が送られる放送のことです。

例えば、野球放送の場合、主番組は通常の野球放送、副番組ではそれぞれのチームをメインにした野球放送が行われます。

マルチビュー対応の放送を受信したとき、映像を切り換えることができます。



(1) マルチビュー欄の ◀ または ▶ にタッチします。

●主番組・副番組が切り換わります。

(2) **終了**、または映像にタッチすると、元の画面に戻ります。

4 二重音声を切り換える

二重音声対応の放送を受信したとき、音声を主音声、副音声または主+副音声に切り換えることができます。



- (1) 信号切換画面で、二重音声欄の ◀ または ▶ にタッチします。

●二重音声切り換わりします。

- (2) **終了**、または映像にタッチすると、元の画面に戻ります。

5 字幕を切り換える

字幕データがある放送を受信したときの表示を切り換えることができます。



- (1) 信号切換画面で、字幕欄の **第一言語**、**第二言語** または **表示しない** にタッチします。

●字幕の表示が切り換わりします。

● **表示しない** にタッチしたときは、字幕データのあ
る番組でも、字幕を表示しません。

- (2) **終了**、または映像にタッチすると、元の画面に戻ります。

6 文字スーパーを切り換える

文字スーパーは、視聴者にお知らせしたいことを、番組放送中の画面上に文字で表示します。文字スーパーがある放送を受信したときの表示を切り換えることができます。



- (1) 信号切換画面で、文字スーパー欄の **第一言語**、**第二言語** または **表示しない** にタッチします。

●文字スーパーの表示が切り換わりします。

● **表示しない** にタッチしたときは、文字スーパーの
ある番組でも、文字スーパーを表示しません。

- (2) **終了**、または映像にタッチすると、元の画面に戻ります。

！ アドバイス

- 番組によって設定できる項目と設定内容は異なります。
- ワンセグのデータ放送、文字スーパーには対応していません。

緊急警報放送（EWS）を見るには

緊急警報情報（EWS）について

緊急警報放送（EWS: Emergency Warning System）とは、大規模災害など緊急なできごとが発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

1 緊急警報放送（EWS）受信時の本機の動作



- (1) 視聴中の放送局で緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送のチャンネルに切り替わります。



アドバイス

緊急警報放送が終了しても、切り替わったチャンネルはそのままです。元のチャンネルには戻りません。再度、お好みのチャンネルを選局してください。

情報を見るには

1 B-CASカードの情報を見るには

B-CASカードの情報を見たり、動作確認をしたりすることができます。

●B-CASカードの情報を見るには



- (1) 情報・設定のメニュー画面で **B-CASカード** にタッチします。



- カードの情報が表示されます。

●B-CASカードの動作確認をするには



- (1) **B-CASカードテスト** にタッチします。

- テスト結果が表示されます。



アドバイス

「NG」が表示されたら、お買い上げの販売店にご相談ください。

2 放送メールを見るには

放送局からのお知らせを見ることができます。



- (1) 情報・設定のメニュー画面で **放送メール** にタッチします。

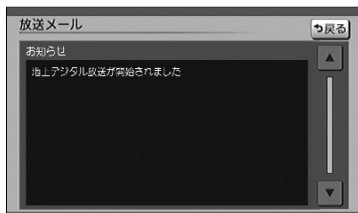
●放送メールの一覧が表示されます。



- (2) メールが7件以上ある場合、▲ または ▼ にタッチしてリストを動かします。

- (3) 確認したいメールを選び、リストにタッチします。

●メールの内容が表示されます。



- (4) 情報を表示しきれない場合は、▲ または ▼ にタッチすると表示内容をスクロールします。



アドバイス

- 放送メールには、放送局からのお知らせ（最大31通まで）や、暗証番号削除通知（最新の1通のみ保存）などがあります。
- メールが31件を超えたときは、一番古いメールが自動で削除されます（未読も含みます）。
- メールの内容に合わせてスイッチが表示されることがあります。

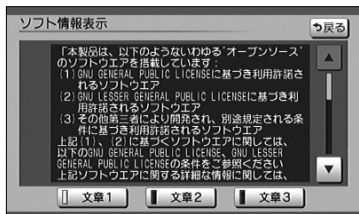
3 ソフトウェアの情報を見るには

本機に関する情報を見ることができます。



- (1) 情報・設定のメニュー画面で **ソフトウェア情報表示** にタッチします。

●ソフトウェアの情報が表示されます。

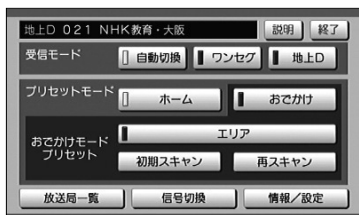


- (2) **文章1**、**文章2** または **文章3** にタッチします。

●文章が切り替わります。

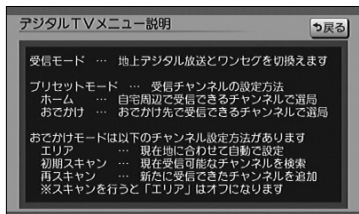
4 設定方法の説明を見るには

設定方法に関する情報を見ることができます。



- (1) デジタルテレビ操作画面 (P.7-16参照) で **設定** にタッチします。

- (2) **説明** にタッチします。



●受信モード、プリセットモード、おでかけモードの設定方法の説明が表示されます。

情報を見るには

テレビ・オーディオ

システムを設定するには

1 オート放送局サーチを設定する

視聴中の放送局が受信不可となった時に、同一放送局の中継局または系列局のスキャンを自動実行するか設定します。

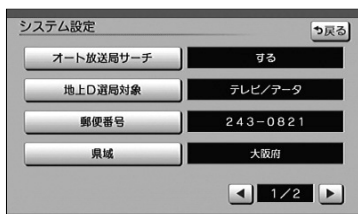


(1) デジタルテレビ操作画面 (P.7-16参照) で **設定** にタッチします。

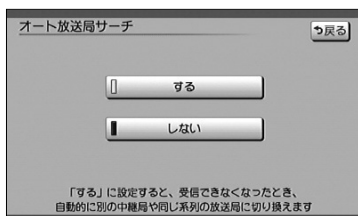
(2) **情報・設定** にタッチします。



(3) **システム設定** にタッチします。



(4) オート放送局サーチにタッチします。



(5) **する** または **しない** にタッチします。

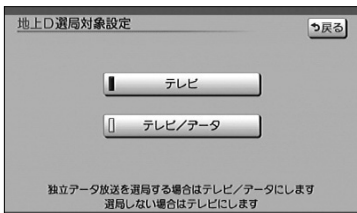
- **する** にタッチすると受信できなくなったとき、自動的に別の中継局または系列局に切り換えます。
- **しない** にタッチすると放送局の切り換えをしません。

2 地上デジタル放送のサービスを設定する

地上デジタル放送を選局するときに、テレビサービスと独立データサービスの全てを選局するのか、テレビサービスのみを選局するのかを設定します。



(1) システム設定画面 (P.7-39の **1** の(4)) で **地上D選局対象** にタッチします。



- (2) **テレビ/データ** または **テレビ** にタッチします。
- **テレビ/データ** にタッチするとテレビサービスと独立データサービスを選局します。
 - **テレビ** にタッチするとテレビサービスのみを選局します。

！ アドバイス

- この設定は番組表、選局パネルにも反映されます。
(例)「テレビ」を設定すると番組表もテレビサービスのみを表示します。
- 「地上D選局対象」を設定できるのは、地上デジタル放送のみです。ワンセグには設定できません。

3 地域を設定する

データ放送でお住まいの地域の情報を受信するために地域を設定します。

●県域を設定するには



(1) システム設定画面 (P.7-39の **1** の(4)) で **県域** にタッチします。



- (2) 左の画面から自宅のある地方にタッチします。
- (3) 右のリストから自宅のある都道府県にタッチします。

●システム設定画面に戻ります。

！ アドバイス

- 伊豆、小笠原諸島地域は「沖縄・その他島部」の「東京都島部」をお選びください。
- 南西諸島鹿児島地域は「沖縄・その他島部」の「鹿児島県島部」をお選びください。

●郵便番号を設定するには



- (1) システム設定画面（P.7-39の **1** の(4)）で **郵便番号** にタッチします。
- (2) 自宅の郵便番号を1文字ずつタッチして入力します。
- (3) **決定** にタッチします。

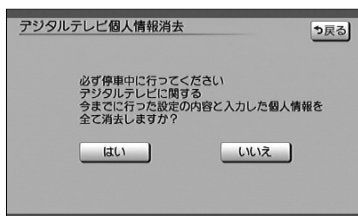
●システム設定画面に戻ります。

4 ホームモードでチャンネルを設定するには

ホームモードでチャンネルを設定するには、「ホームモードでチャンネルを設定するには」（P.7-20の **1**）を参照してください。

5 個人情報を消去するには

地上デジタルテレビの設定を工場出荷状態にします。



- (1) システム設定画面（P.7-39の **1** の(4)）で、**個人情報消去** にタッチします。
- (2) **はい** にタッチします。

●本機に記録されているお客様の地上デジタルテレビ操作に関する個人情報（データ放送などで入力した個人情報）が、すべて消去されます。

●地上デジタルテレビの設定を工場出荷状態に戻します。

●個人情報消去中は、エンジンスイッチをOFFにしないでください。

アイコン一覧

本機はアイコン（機能表示のシンボルマーク）によって、いろいろな情報をお知らせします。



メール一覧画面で、お客様がまだ読まれていないメール。（未読メール）



メール一覧画面で、お客様が既に読まれたメール。（既読メール）



おでかけスキャンでのチャンネル設定時に表示



ホームスキャンでのチャンネル設定時に表示



電波状態を表示



強



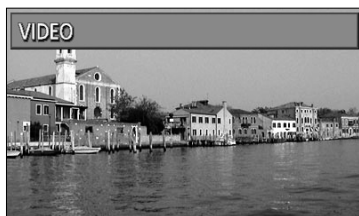
弱



弱すぎて受信できない、または、電波が届いていない

ビデオカメラ等のモニターとして使うには

市販のビデオ機器との接続でビデオモニターとして使用することができます。
(別売のVTRコードを販売店にてお求めください。)



(1) を押します。

●オーディオ操作画面が表示されます。

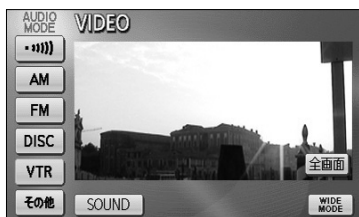
(2) **VTR** にタッチします。

●VTR(ビデオ部入力)に切り替わり、ビデオなどの映像が表示されます。

●オーディオシンプルメニューに **VTR** を設定していない場合は、**その他** にタッチしてから **VTR** にタッチします。(P.7-3参照)

●を押すまたは映像にタッチすると、ビデオ操作画面が表示されます。

●ビデオ操作画面で **全画面** または映像部分にタッチすると、ビデオ操作画面が消去され、ビデオ映像が表示されます。

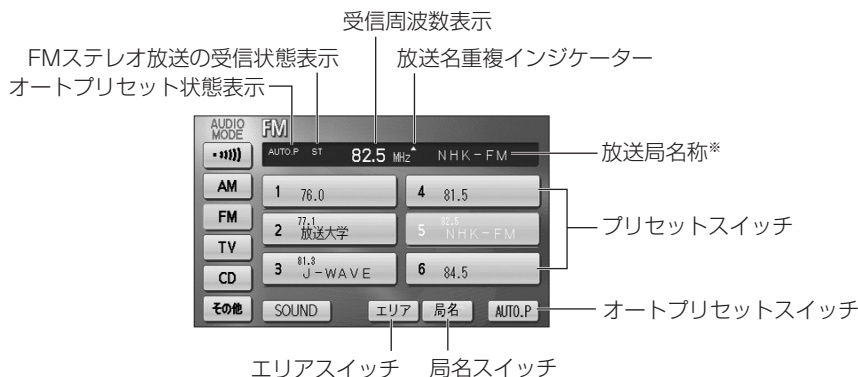


お知らせ

- ビデオ機器によっては、ビデオ中継コードが使用できないものがありますので、それぞれの機器の取扱説明書を参照してください。
- VTRからの入力信号が大きい場合には、音が歪む場合があります。この場合、接続した機器側で音量を調整してください。
- 接続した機器により、映像が正常に表示されない場合があります。
- ビデオ映像には、時計が重ねて表示されます。
時計は表示／非表示を設定することができます。P.1-31を参照してください。
- 走行中は安全のため、ビデオ映像が消え、音声だけになります。

ラジオを聞くには

AM放送またはFM放送を受信し、聞くことができます。



※放送局名称は自車の位置によって表示されないことがあります。

1 ラジオを聞くには



(1) を押します。

● オーディオ操作画面が表示されます。

(2) **FM** / **AM** にタッチします。

● FM/AM放送の音声に切り替わり、ラジオ操作画面が表示されます。

● オーディオシンプルメニューに **FM** / **AM** を設定していない場合は、**その他** にタッチしてから **FM** / **AM** にタッチします (P.7-3の **1** 参照)。



！ アドバイス

FMステレオ放送を受信しているときは画面にSTが表示されます。

2 選局するには



(1) **TUNE TRACK** の左右を押すか、ラジオ操作画面でプリセットスイッチにタッチして選局します。

- **TUNE TRACK** の左右をピッと音がするまで押し続けると、現在、画面に表示されている周波数に一番近い放送局を探して受信します。途中で中止するときはもう一度押します。



お知らせ

- 受信電波が弱いと、放送局を探しても受信することができない場合があります。
- ラジオの受信は、アンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり障害物や電車、信号機などの影響により最適な受信状態を維持することが困難な場合があります。

3 選局した放送局を記憶させるには



(1) 放送局を選局後、ラジオ操作画面でプリセットスイッチをピッと音が鳴るまでタッチし続けます。
(マニュアルプリセット)

- プリセットスイッチにタッチすると周波数をワンタッチで選択できます。

(2) 自動的に記憶させる場合は、ピッと音が鳴るまで **AUTO.P** にタッチし続けます。

- 動作が終了するとプリセットスイッチに周波数が記憶されます。
(オートプリセット)
- プリセットスイッチにタッチすると周波数をワンタッチで選択できます。



アドバイス

AM操作画面から交通情報の周波数を設定することができます。詳細は「交通情報を聞くには」(P.7-47)を参照してください。



お知らせ

- 電波の強い放送局が6局、記憶されます。
- オートプリセット動作中または動作後に **AUTO.P** にタッチするとプリセットメモリーは、オートプリセット動作前の状態に戻ります。
- オートプリセットを行った時は画面に「A U T O . P」が表示されます。
- 電波が弱く1局もプリセットされなかった場合、プリセット局はオートプリセット動作前の状態に戻ります。

4 エリアスイッチについて



(1) ラジオ操作画面で **エリア** にタッチします。

- その地域で放送されている放送局名と受信周波数が画面に表示されます。

(2) プリセットスイッチにタッチして選択します。



アドバイス

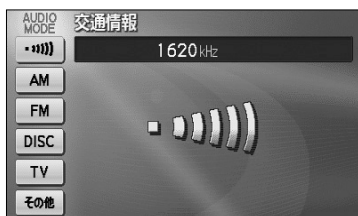
- 旅先などで放送局の受信チャンネルがわからないときなどに便利です。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、▲が表示されることがあります。▲が表示されたときは **局名** にタッチすると重複したもう1つの放送局名に切り替えることができます。
- エリアスイッチで放送局表示させた場合は、「A R E A . P」が表示されます。

ラジオを聞くには

テレビ・オーディオ

交通情報を聞くには

交通情報を受信し、聞くことができます。



(1)  を押します。

- オーディオ画面が表示されます。

(2)  にタッチします。

- 交通情報放送を行っている地域で交通情報を受信できます。



(3) 交通情報の周波数を別の周波数に変更するにはAM操作画面（P.7-44参照）で記憶させたい周波数を選局します。

- 選局する方法については、P.7-45を参照してください。

(4)  をピッと音がするまでタッチし続けます。

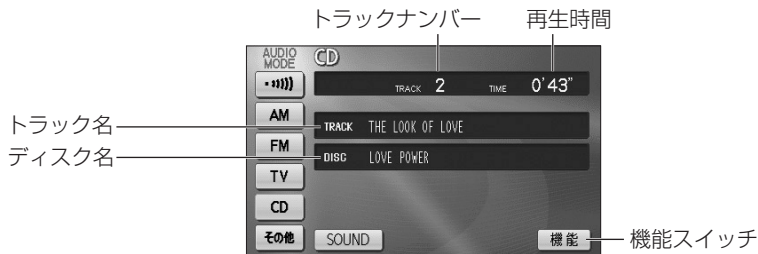


お知らせ

初期設定では1620 kHz にセットしてあります。

CDプレーヤーでCDを聞くには

CDを再生し、聞くことができます。CDの出し入れについてはP.1-16を参照してください。



1 CDを聞くには



●CDが挿入されていない場合

- (1) ディスク差し込み口にCDを差し込むと自動的に電源が入り、再生を始めます。

- 再生中に を押すとCD操作画面が表示されます。

●CDが挿入されている場合

- (1) を押します。

- オーディオ操作画面が表示されます。

- (2) **CD** にタッチします。

- CD操作画面が表示されます。

- オーディオシンプルメニューに **CD** を設定していない場合は、**その他** にタッチしてから **CD** にタッチします。(P.7-3の **1** 参照)



！ アドバイス

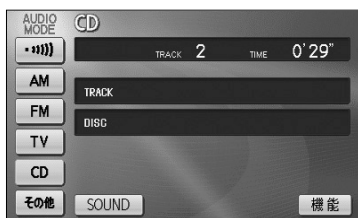
- 本機では、CDエキストラの映像再生はできません。
- マルチセッションにより複数のセッションが存在するディスクでは、最初のセッションに記録されているデータのみ再生することができます。



お知らせ

- 録音機種によってはディスクが再生されないことがあります。
- CD操作画面に表示される文字数は以下のとおりです。
ディスクタイトル・・・半角で最大24文字、全角文字で最大12文字まで、先頭から表示します。
トラックタイトル・・・半角で最大24文字、全角文字で最大12文字まで、先頭から表示します。
- 録音（入力）機種によっては文字（記号）タイトルが表示されないことがあります。
- CD-TEXT情報のあるCDを再生中は、CD-TEXT情報を表示します。

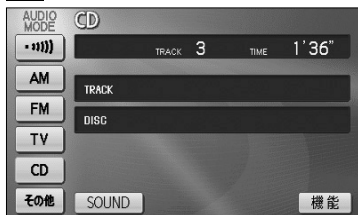
2 曲を選ぶには



(1) の左右を押します。

- 右側を1回押すと、次の曲を再生します。
- 左側を1回押すと、曲の先頭に戻ります。
- 左側を続けて2回押すと、前の曲を再生します。

3 早送り・早戻しをするには



(1) の左右を押し続けます。

- 右側を押し続けると早送りできます。
- 左側を押し続けると早戻しできます。
- 手をはなすと、はなした位置から再生が開始されます。

4 再生中のディスクの中から希望する曲を探すには



(1) **機能** にタッチします。

(2) **SCAN** にタッチします。

- **SCAN** の作動表示灯が点灯し、画面左上部に“SCAN”の文字が表示されます。
- 再生中の次の曲から、曲の始めの部分を約10秒間ずつ、次々に再生します。
- 解除するにはもう一度 **SCAN** にタッチします。
解除されたところから再生を続けます。

5 同じ曲をリピート再生するには



(1) **機能** にタッチします。

(2) **RPT** にタッチします。

- **RPT** の作動表示灯が点灯し、画面左上部に“RPT”の文字が表示されます。
- 解除するにはもう一度 **RPT** にタッチします。

6 曲の順番をランダムに聞くには



(1) **機能** にタッチします。

(2) **RAND** にタッチします。

- **RAND** の作動表示灯が点灯し、画面左上部に“RAND”の文字が表示されます。
- 解除するにはもう一度 **RAND** にタッチします。

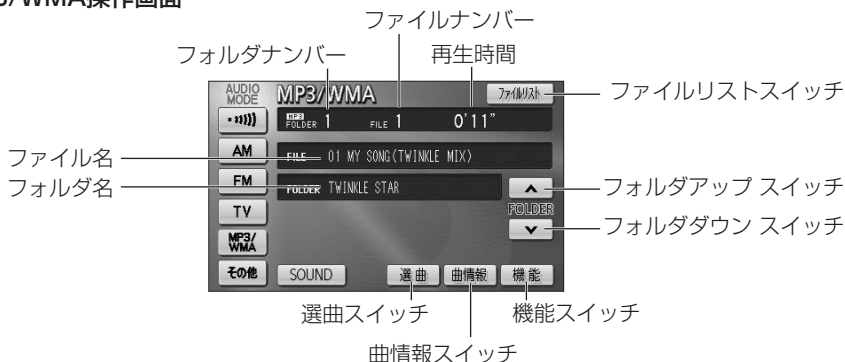
CDプレーヤーでCDを聞くには

テレビ・オーディオ

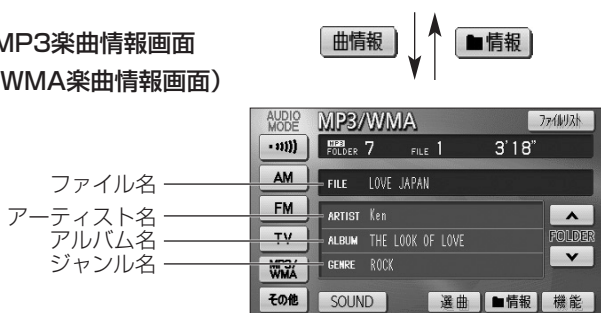
MP3/WMAプレーヤーで音楽を聞くには

CD-ROM、CD-R/RWに記録されたMP3/WMAファイルを聞くことができます。

●MP3/WMA操作画面



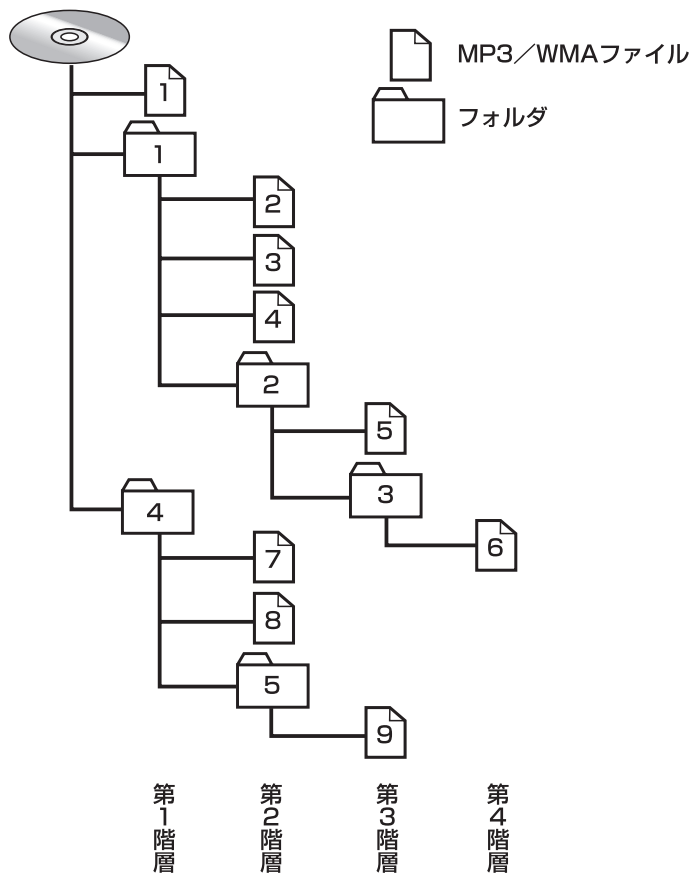
●MP3楽曲情報画面 (WMA楽曲情報画面)



お知らせ

- MP3/WMA操作画面で **曲情報** にタッチすると、再生中の楽曲の情報が表示されます。
- MP3楽曲情報画面では、MP3ファイルのID3タグ情報（P.7-59参照）を表示します。
- WMA楽曲情報画面では、WMAファイルのWMAタグ情報（P.7-59参照）を表示します。
- MP3の楽曲情報を表示するのに、時間がかかる場合があります。
- 画面に表示させることができるフォルダ名、ファイル名の文字数は、最大12文字（半角のみのときは24文字）までです。また、記録されている内容によっては、正しく表示されなかったり、表示自体されない場合があります。

●MP3/WMA対応ディスクの構造例



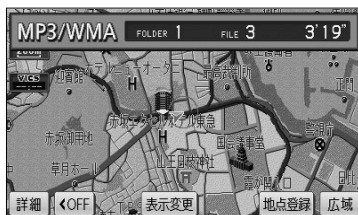
MP3/WMAプレーヤーで音楽を聞くには



お知らせ

- フォルダに格納されずディスクに直接格納されているファイル①は、本機のMP3/WMAプレーヤーで再生する場合に“ROOT FOLDER”という架空のフォルダに格納されます。
- MP3/WMAファイルが直接格納されていないフォルダは、本機では表示されません。
- 同じディスク（同一セッション）に音楽CD（CDDA）データとMP3/WMAデータが混在する場合、MP3/WMAデータは再生されません。
- 同じディスクにオーディオファイル（WAVEデータ）とMP3/WMAデータが混在する場合には、MP3/WMAデータのみ再生することができます。
- マルチセッションにより複数のセッションが存在するディスクでは、すべてのセッションを再生できない場合があります。

1 MP3/WMAディスクを聞くには



●ディスクが挿入されていない場合

(1) ディスク差し込み口にディスクを差し込むと自動的に電源が入り、再生を始めます。

●再生中に を押すとMP3/WMA操作画面が表示されます。

●ディスクが挿入されている場合

(1) を押します。

●オーディオ操作画面が表示されます。

(2) **MP3/WMA** にタッチします。

●MP3/WMA操作画面が表示されます。

●オーディオシンプルメニューに **MP3/WMA** を設定していない場合は **その他** にタッチしてから **MP3/WMA** にタッチします (P.7-3の **1** 参照)。



お知らせ

- 通常は **1** → **2** → **3** → **4** → **5** → **6** → **7** → **8** → **9** (「●MP3/WMA対応ディスクの構造例」を参照) の順に再生します。
- 再生中のファイルのモードを、“MP3” または “WMA” で表示します。

2 聞きたいフォルダを選ぶには

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

●操作画面で選ぶには



(1) MP3/WMA操作画面 (P.7-51 参照) で または にタッチします。

●選択したフォルダに格納されている最初のファイルから再生を開始します。

●選曲フォルダリスト画面で選ぶには



(1) MP3/WMA操作画面 (P.7-51 参照) で **選曲** にタッチします。

(2) 聞きたいフォルダ (リスト) にタッチします。

- 選択したフォルダに格納されている最初のファイルから再生を開始します。

3 聞きたいファイルを選ぶには

ディスクの中から聞きたいファイルを選ぶことができます。

●TUNE・TRACKボタンで選ぶには



(1) **TUNE TRACK** の左右を押します。

- 右側を1回押すと、次のファイルを再生します。
- 左側を1回押すと、ファイルの先頭に戻ります。
- 左側を続けて2回押すと、前のファイルを再生します。

●選曲ファイルリスト画面で選ぶには



(1) 2の「●選局フォルダリスト画面で選ぶには」の(2)の画面で **選曲** にタッチします。

- 走行中はリストのスクロール操作はできません。



(2) ファイル (リスト) にタッチします。

- 選択したファイルの再生を開始します。
- **トップ画面へ** にタッチすると、MP3/WMA操作画面を表示します。

●ファイルリスト画面で選ぶには



- (1) **ファイルリスト** にタッチします。

● 走行中はリストのスクロール操作はできません。

- (2) ファイル (リスト) にタッチします。

● 選択したファイルの再生を開始します。

4 早送り・早戻しをするには



- (1) **TUNE TRACK** の左右をピッと音が鳴るまで押し続けます。

● 右側を押し続けると早送りできます。

● 左側を押し続けると早戻しできます。

● 手をはなすと、はなした位置から再生が開始されます。

5 同じファイルをリピート再生するには



- (1) MP3/WMA操作画面 (P.7-51参照) で **機能** にタッチします。

- (2) **RPT** にタッチします。

● **RPT** の作動表示灯が点灯し、画面右上部に“RPT”の文字が表示されます。

● 再生中のファイルを繰り返し再生します。

● 解除するにはもう一度 **RPT** にタッチします。

6 同じフォルダをリピート再生するには



- (1) MP3/WMA操作画面 (P.7-51 参照) で **機能** にタッチします。
- (2) **FOLDER RPT** にタッチします (フォルダリピート)。
 - **FOLDER RPT** の作動表示灯が点灯し、画面右上部に“FLD. RPT”の文字が表示されます。
 - 現在再生中のファイルと同じフォルダにあるファイルを繰り返し再生します。
 - 解除するにはもう一度 **FOLDER RPT** にタッチします。

7 再生中のフォルダの中からランダムに再生するには



- (1) MP3/WMA操作画面 (P.7-51 参照) で **機能** にタッチします。
- (2) **RAND** にタッチします。
 - **RAND** の作動表示灯が点灯し、画面右上部に“RAND”の文字が表示されます。
 - 再生中のフォルダの中からランダム（無作為）にファイルが選択され再生します。
 - 解除するにはもう一度 **RAND** にタッチします。

8 全フォルダの中からランダムに再生するには



- (1) MP3/WMA操作画面 (P.7-51 参照) で **機能** にタッチします。
- (2) **FOLDER RAND** にタッチします (フォルダランダム)。
 - **FOLDER RAND** の作動表示灯が点灯し、画面右上部に“FLD. RAND”の文字が表示されます。
 - ディスク内の全フォルダの中からランダム（無作為）にファイルが選択され再生します。
 - 解除するにはもう一度 **FOLDER RAND** にタッチします。

9 再生中のフォルダの中からファイルを探すには



- (1) MP3/WMA操作画面 (P.7-51 参照) で **機能** にタッチします。
- (2) **SCAN** タッチします。

- **SCAN** の作動表示灯が点灯し、画面右上部に“SCAN”の文字が表示されます。
- 再生中のファイルの次のファイルから、フォルダ内の全ファイルの始めの部分を、10秒間ずつ再生します。
- 解除するにはもう一度 **SCAN** にタッチします。解除されたところから再生を続けます。
- 全ファイルの再生が終わると自動的に解除されます。

10 全フォルダの中からフォルダを探すには



- (1) MP3/WMA操作画面 (P.7-51 参照) で **機能** にタッチします。
- (2) **FOLDER SCAN** にタッチします (フォルダスキャン)。

- **FOLDER SCAN** の作動表示灯が点灯し、画面右上部に“FLD. SCAN”の文字が表示されます。
- 再生中のフォルダの次のフォルダから、各フォルダ内の先頭にあるファイルの始めの部分を、10秒間ずつ再生します。
- 解除するにはもう一度 **FOLDER SCAN** にタッチします。解除されたところから再生を続けます。
- 全フォルダの先頭にあるファイルの再生が終わると自動的に解除されます。

●MP3/WMAについて

MP3 (MPEG Audio Layer3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。

WMA (Windows Media™Audio)はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3よりも小さいサイズに圧縮することができます。

使用できるMP3/WMAファイルの規格や記憶したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

再生可能なMP3ファイルの規格について

●対応規格

MP3(MPEG-1 Audio Layer3、MPEG-2 Audio Layer3 LSF)

●対応サンプリング周波数

MPEG-1 Audio Layer3 : 32、44.1、48 (kHz)

MPEG-2 Audio Layer3 LSF : 16、22.05、24 (kHz)

●対応ビットレート

MPEG-1 Audio Layer3 : 32、64、80、96、112、128、160、192、224、256、320 (kbps)

MPEG-2 Audio Layer3 LSF : 8、16、32、64、80、96、112、128、
※VBRに対応しています。 144、160 (kbps)

●対応チャンネルモード

: ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

再生可能なWMAファイルの規格について

●対応規格

WMA Ver. 7、8、9

●対応サンプリング周波数

32、44.1、48(kHz)

●対応ビットレート

Ver.7、8、9 : CBR 48、64、80、96、128、160、192、256、320 (kbps)

※VBRに対応しています。(Ver. 9の44.1、48(kHz)のみ)

※2ch再生のみ対応しています。

ID3タグ/WMAタグについて

MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

本機では、ID3 Ver. 1.0、1.1、2.3、2.4のID3タグに対応しています。

※Riff SIFには対応しておりません。

WMAファイルには、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名（アーティスト名）を保存することができます。

使用できるメディアについて

MP3/WMAの再生に使用できるメディアはCD-R、CD-RWおよびCD-ROMです。

なお、CD-R、CD-RW、CD-ROMは通常の音楽CD(CDDA)に使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RW、CD-ROMは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズをつけた場合、再生できないことや、音飛びすることがあります。

一部のCD-R、CD-RW、CD-ROMは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

なお、CD-R、CD-RW、CD-ROMは紫外線に弱いいため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは下記のとおりです。

●ディスクフォーマット

CD-ROM Mode 1

CD-ROM XA Mode 2 Form 1

●ファイルフォーマット

ISO9660レベル1、2

Joliet

Romeo

※パケットライト方式には対応しておりません。

上記フォーマット以外で書き込まれたMP3/WMAファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- | | |
|-------------------|------------------------|
| ●最大ディレクトリ階層 | : 8階層 |
| ●最大フォルダ名/ファイル名文字数 | : 全角16文字。半角のみのときは32文字。 |
| ●最大フォルダ数 | : 192（ルート含む） |
| ●ディスク内最大ファイル数 | : 255 |

ファイル名について

MP3/WMAと認識し再生するファイルはMP3/WMAの拡張子“.mp3” / “.wma” がついたものだけです。

MP3/WMAファイルには、“.mp3” / “.wma” の拡張子をつけて保存してください。

マルチセッションについて

本機は、マルチセッションに対応しておりません。1枚のディスクに2つ以上のセッションが記録されている場合は、全てのセッションを再生できない場合があります。

MP3/WMAの再生について

MP3/WMAファイルが格納されているディスクを挿入すると、最初にディスク内の全てのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初のMP3/WMAファイルを再生します。ディスク内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

MP3/WMAの演奏時間表示について

MP3/WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

※VBRで作成したファイルの早送り・早戻し動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。

MP3/WMAファイル、フォルダのリスト表示順番について

MP3/WMAファイルおよびフォルダのリストは次のような順番で表示します。

1. MP3/WMAファイルを格納しているフォルダにフォルダナンバーが順番に付与されます。この順番は同一階層にあるフォルダよりも下位階層にあるフォルダが優先となります。
2. 次にフォルダ内のファイルがファイル名順（0～9、A～Z等）に並べられます。
3. 同一階層内に、同じファイル名でMP3とWMAファイルが存在する場合はMP3を優先して表示します。



お知らせ

MP3/WMA以外のファイルに“.mp3” / “.wma” の拡張子をつけると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA以外のファイルに“.mp3” / “.wma” の拡張子をつけないでください。

●MP3/WMAファイルの作り方、楽しみ方について

MP3/WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

インターネット上のMP3/WMA音楽配信サイトから入手する場合について

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、視聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々なMP3/WMA音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り（料金支払いなど）、そこから指示どおりにダウンロードを行います。

音楽CDからMP3/WMAファイルに変換する場合について

パソコンと市販のMP3/WMAエンコーダ（変換）ソフトを用意します（インターネット上で無料配布されているエンコーダソフトもあります）。パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDを入れ、MP3/WMAエンコーダソフトの手順にしたがって音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3/WMA形式の音楽データファイルができます。

CD-R/CD-RWに書き込む場合について

MP3/WMAファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介して、ライティングソフトにてCD-R/RWに書き込みます。

- ・ISO9660レベル1、2またはJolietまたはRomeoというファイルフォーマットに設定してください。
- ・CD-RWを消去して使用する場合には、完全に消去したことを確認してからご使用ください。
- ・CD-R/RWは、書き込みの設定でセッションとCDの終了処理を行ってください。

※使用方法などはライティングソフトで異なりますので確認してください。

- ・ライブファイルシステム形式で記録されたディスクには対応しておりません（Microsoft Windows Vistaをご使用の際は設定をご確認ください）。



お知らせ

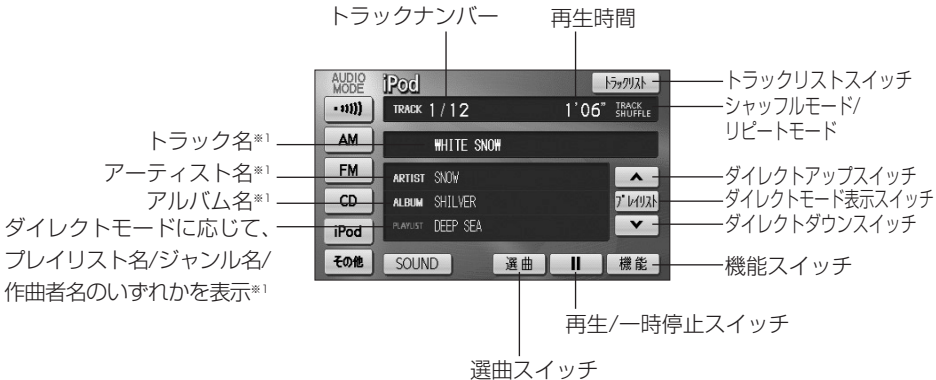
- 安定した音質で再生するために、MP3の場合、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数、ステレオのチャンネルモードを推奨します。
- CD-R/CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。また、本機ではディスクアットワンス、トラックアットワンスで記録されたディスクをご使用ください。
- MP3/WMAは市場にフリーウェアなど、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3/WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- Microsoft、Windows、Windows Mediaは米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその他の国における登録商標および商標です。

iPod®で音楽を聞くには

オプションのiPod接続コードを購入した場合、iPodを本機に接続して、iPodの音楽を聞くことができます。また、選曲やシャッフルモードの切り替えを、本機で操作することができます。

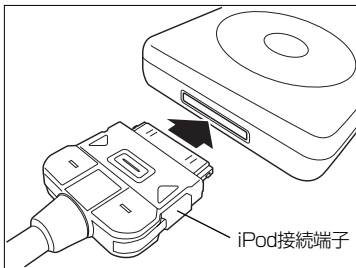
iPodは、米国及び他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

●iPod操作画面



※1 日本語および英語表記のみ対応

1 iPodを本機に接続するには

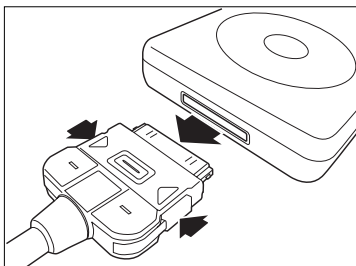


- (1) iPod本体に接続されているイヤホン、リモコン、ACアダプターなどを、すべて取りはずします。
- (2) iPod接続端子に、iPodを接続します。

- iPod接続端子の位置は、機種によって異なります。
- iPod再生状態に関わらず、本機に接続すると自動的に一時停止、全曲リピートモードになります。
- 本機に接続中、iPodは充電されます。

●取りはずすには

- (1) iPod接続端子を矢印の方向に押しながら、取り外します。



！ アドバイス

- iPodモード中に音量を調整すると、iPodモード用の音量レベルとして記憶させることができます。
- iPodに収録されている曲数、ソフトウェアによっては、iPodとの通信状態により、操作画面による操作を行っても、すぐに反応しないことがあります。故障ではありません。
- iPodにイヤホンやリモコンなどのアクセサリを挿したまま使用しないでください。その場合、動作保証対象外となります。
- iPodで音楽再生している間は、接続ケーブルを抜かないでください。iPodが故障する場合があります。
- 正しく動作しない場合、iPodを本機から取り外し、iPod本体をリセットしてから本機に再度接続してご使用ください。iPodのリセット方法は、iPodの取扱説明書をご覧ください。



注意

運転中は、安全のため、ヘッドフォンまたはイヤホンを使用しないでください。

2 iPodを聞くには



- (1) を押します。

●オーディオ操作画面が表示されます。

- (2) **iPod** にタッチします。

●iPod操作画面が表示されます。

●オーディオシンプルメニューに **iPod** を設定していない場合は、**その他** にタッチしてから **iPod** にタッチします (P.7-3の **1** 参照)。

3 曲を頭出しするには



- (1) の左右を押します。

●右側を1回押すと、次のトラック(曲)を再生します。

●左側を1回押すと、トラック(曲)の先頭にに戻ります。

●左側を続けて2回押すと、前のトラック(曲)を再生します。

！ アドバイス

- 前のトラックの再生を行う場合は、トラックの再生時間が3秒以内に左側を押します。5曲前のトラックを再生する場合は、左側を続けて6回押します。
- 右側または左側を押し続けると、早送りまたは早戻しになります。再生するトラックを変更する場合には、短く押してください。

4 早送り・早戻しをするには

●トラックスイッチで選ぶ



(1) **トラック** の左右を押し続けます。

- 右側を押し続けると、早送りできます。
- 左側を押し続けると、早戻しできます。
- 手をはなすとはなした位置から再生が開始されます。

！ アドバイス

早送りによりトラックの最後まで送った場合は、次のトラックに移り通常の再生を行います。
早戻しによりトラックの最初まで戻った場合は、トラックの先頭から通常の再生を行います。

5 再生を一時停止するには



(1) **一時停止** にタッチします。

- 一時停止中は、**一時停止** が表示されます。
- 通常の再生に戻すには、**再生** をタッチします。

6 同じ曲をリピート再生するには



●1曲をリピート再生するには

- (1) **機能** にタッチします。
- (2) **RPT 1曲** にタッチします。

- RPT 1曲** の作動表示灯が点灯し、画面右上部に“TRACK RPT”の文字が表示されます。



●再生対象曲全てをリピート再生するには

- (1) **機能** にタッチします。
- (2) **RPTプレイリスト** にタッチします。

●**RPTプレイリスト** の作動表示灯が点灯し、画面右上部に“PLAYLIST RPT”の文字が表示されます。

7 曲の順番をランダムに聞くには(シャッフル再生)



●曲をシャッフルするには

- (1) iPod操作画面 (P.7-62参照) で、**機能** にタッチします。
- (2) **SHUFFLE曲** をタッチします。

●**SHUFFLE曲** が点灯し、画面右上部に“TRACK SHUFFLE”の文字が表示されます。

●再生対象となっている曲全てからランダム(無作為)に並べて再生します。



●アルバムをシャッフルするには

- (1) iPod操作画面 (P.7-62参照) で、**機能** にタッチします。
- (2) **SHUFFLEアルバム** をタッチします。

●**SHUFFLEアルバム** が点灯し、画面右上部に“ALBUM SHUFFLE”の文字が表示されます。

●再生対象曲をアルバム単位でアルバムの順番をランダム(無作為)に並べて再生します。

! アドバイス

再生される順序は、iPod本体の動作に準じます。

8 リストから曲を選ぶには



- (1) iPod操作画面（P.7-62参照）で、**選曲** にタッチします。

●選曲画面



タブ
スクロールスイッチ

- (2) 表示したいリストを選んでタッチします。

- **▶** 5個目以降のタブ画面へ切替えます。
- 選択されているタブ以外を選択すると再生曲が切り替わります。
- プレイリスト、アーティスト、アルバム、ポッドキャスト、ジャンル、作曲者を選択した場合は、選択した項目の全曲を再生します。
- **▲** **▼** **▲** **▼** リストを動かします。
- **ALL** 選択したリストの全曲が再生されます。
- **📁** 選択した項目に登録されているリストが表示されます。



- (3) リストから項目を選びます。

- 選んだ項目の再生を開始します。
- **トップ画面へ** iPod操作画面に戻ります。

! アドバイス

- 各リスト画面に表示される文字数は、半角で最大38文字、全角文字で16文字まで、先頭から表示します。
- iPodを接続後、ダイレクトモードを選択（P.7-67参照）するまでは、選曲画面のリストは表示されません。
- プレイリスト、ポッドキャスト、曲の場合は、**ALL** リストは表示されません。
- 曲のリストを表示している場合は、**📁** は表示されません。
- 現在再生しているプレイリスト、アーティスト、アルバム、ポッドキャスト、ジャンル、作曲者は強調表示されます。
- リストを表示するときは、現在再生しているトラックを含むプレイリスト、アーティスト、アルバム、ポッドキャスト、ジャンル、作曲者が一番上に表示されます（再生中トラックを含まない場合は、先頭から表示します）。また、リストは再生する順に表示されます。
- スクロールスイッチは表示されているリストを5分割し、タッチした場所に応じたリストを表示します。

9 ダイレクトモードで選曲するには

ダイレクトモードとは、選択したモードを単位として再生対象曲を切り替えることができる機能です。ここでは、ダイレクトモードでプレイリストを選択した場合で説明します。

●選曲画面から選択



(1) 選曲画面からダイレクトモードを選択する場合は、iPod操作画面（P.7-62参照）で、**選曲** にタッチします。

iPod操作画面からダイレクトモードを選択する場合は、iPod操作画面（P.7-62参照）で、ダイレクトモード表示部にタッチします。

(2) **プレイリスト** にタッチします。

●iPod操作画面から選択



ダイレクトモード表示部

●モードを「プレイリスト」に設定して、前回の「プレイリスト」モードで再生していたプレイリストに再生対象曲を切り替えます。

●**アーティスト** にタッチすると、モードを「アーティスト」に設定して、前回の「アーティスト」モードで再生していたアーティストに再生対象曲を切り替えます。

●**アルバム** にタッチすると、モードを「アルバム」に設定して、前回の「アルバム」モードで再生していたアルバムに再生対象曲を切り替えます。

●**曲** にタッチすると、モードを「曲」に設定して、先頭曲に再生対象曲を切り替えます。

●**ポッドキャスト** にタッチすると、モードを「ポッドキャスト」に設定して、前回の「ポッドキャスト」モードで再生していたポッドキャストに再生対象曲を切り替えます。

●**ジャンル** にタッチすると、モードを「ジャンル」に設定して、前回の「ジャンル」モードで再生していたジャンルに再生対象曲を切り替えます。

●**作曲者** にタッチすると、モードを「作曲者」に設定して、前回の「作曲者」モードで再生していた作曲者に再生対象曲を切り替えます。

●初回は先頭リストに再生対象曲を切り替えます。

●選択したモードがダイレクトモード表示部に表示されます。



ダイレクトモード表示部

(3) ▲ または ▼ にタッチすると、選択したモードごとに再生対象曲を切り替えることができます。

- ▲ にタッチすると、再生中のプレイリストの次のプレイリストに再生対象曲が切り替わります。
- ▼ にタッチすると、再生中のプレイリストの1つ前のプレイリストに再生対象曲が切り替わります。

！ アドバイス

- iPod操作画面に表示されるプレイリスト名、ジャンル名、作曲者名、ポッドキャスト名は、ダイレクトモードでプレイリスト、ジャンル、作曲者、ポッドキャストのいずれかを選択している場合に表示されません。
- ▲ または ▼ をタッチして選曲される順序は、iPod本体の動作に準じます。
- 本機にiPodを接続または再接続、エンジンスイッチをOFFした場合は、ダイレクトモードの選択が解除されます。
- ダイレクトモードで「曲」を選択している場合は、▲ または ▼ が選択できません。

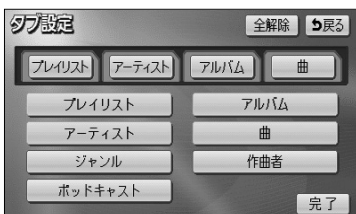
10 タブのカスタマイズをするには



(1) iPod操作画面 (P.7-62参照) で、**選曲** にタッチします。

(2) **タブ設定** にタッチします。

●タブ設定画面が表示されます。



(3) 選曲画面のタブ表示順番で、1～4番目に配置したい項目にタッチします。

●初期設定は、**プレイリスト**・**アーティスト**・**アルバム**・**曲** に設定されています。

●選択している項目にタッチすると、選択を解除できます。

●**全解除** にタッチすると選択している項目がすべて解除できます。

(4) **完了** にタッチします。

●選択した項目が、選曲画面の1～4番目のタブに配置されます。

●選択しなかった項目は、選曲画面の5～7番目のタブとして配置されます。

●現在設定されているダイレクトモードのタブが存在する選曲画面を表示します。



11 再生するトラックの一覧を表示するには



スクロールスイッチ

(1) iPod操作画面 (P.7-62参照) で、**トラックリスト** にタッチします。

●再生対象となっているトラックが再生順に全て表示されます。

●     リストを動かします。

(2) 表示されているトラックにタッチするとタッチしたトラックの再生を開始します。



アドバイス

- リストは再生する順に表示されます。
- 現在再生しているトラックはリストが強調表示されます。
- リストを表示するときは、現在再生しているトラックのリストが一番上に表示されます。
- スクロールスイッチは表示されているリストを5分割し、タッチした場所にに応じたリストを表示します。

12 対応iPod機種一覧

2009年3月現在		
機種	世代	バージョン
iPod	第5世代	1.3 以降
iPod classic	第6世代	1.1.2 以降
iPod nano	第1世代	1.3.1 以降
	第2世代	1.1.3 以降
	第3世代	1.1.2 以降
	第4世代	1.0.2 以降
iPod touch	第1世代	1.1.5 以降
	第2世代	2.2.1 以降



アドバイス

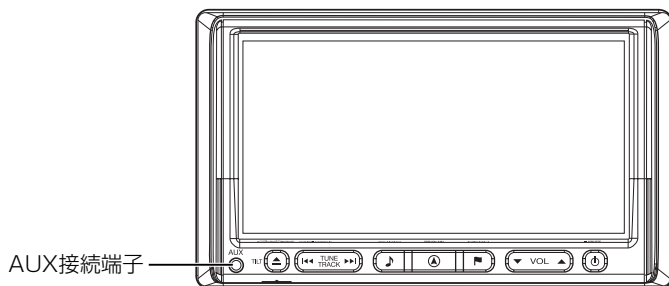
- iPodのバージョン情報は、iPod本体で確認できます。詳しくは、iPodの取扱説明書をご覧ください。
- iPodで再生できる動画や静止画は、本機で再生できません。
- オーディオブック機能には対応していません。

ポータブルオーディオ機器を接続して使う (AUX)

市販のポータブルオーディオを接続すると、本機でポータブルオーディオに収録された音楽を聞くことができます。

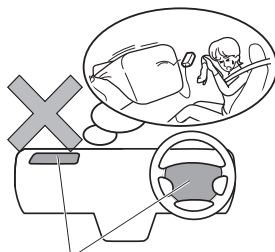
ポータブルオーディオを接続する場合は、別売の「AUX接続コード」をご使用ください。

※本機でポータブルオーディオ機器をご使用になる場合は、そのポータブルオーディオ機器の取扱説明書をよくお読みになり、本機での使用に問題がないことをご確認のうえご使用ください。



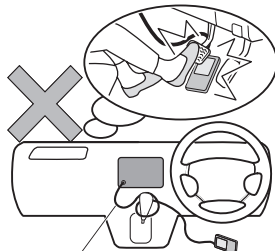
●ポータブルオーディオをお使いになる前に

⚠ 注意



SRSエアバッグ展開部

●接続したポータブルオーディオやAUX接続コードを、インストパネルの上などに設置しないでください。SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグが展開したときにポータブルオーディオが飛ばされるなどのおそれがあります。



AUX接続コード

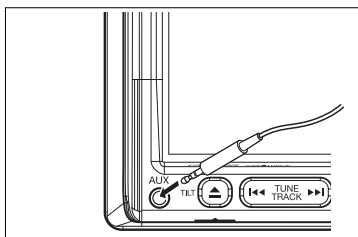
●ポータブルオーディオやAUX接続コードを、運転の邪魔にならない場所に避ける、または邪魔にならない場所で仮固定するなどしてください。運転に支障をきたし、交通事故の原因になることがあります。

ポータブルオーディオ機器を接続して使う (AUX)

テレビ・オーディオ

1 ポータブルオーディオを接続する（取りはずす）

- ポータブルオーディオの電源が切れていることを確認してください。
- オーディオのモードがAUX以外になっている、または本機の電源がOFFになっていることを確認してください。



(1) AUX接続コードを接続します（取りはずします）。



お知らせ

- 抵抗付きコードは使用できません。
- モニター開閉時、コードを挟み込まないように注意してください。
- 今後発売される機器に関しては、動作の保証はいたしません。



お願い

- ディスプレイが開いている、または傾いた状態（P.1-22参照）では、AUX接続コードの抜き差しはしないでください。
- AUX接続コードに手を引っ掛けたりしないよう注意してください。
- 運転中はポータブルオーディオの接続・操作・取りはずしをしないでください。

2 ポータブルオーディオを聞く

ポータブルオーディオ側の操作は、ポータブルオーディオに添付されている取扱説明書をご覧ください。

(1) 接続したポータブルオーディオの電源を入れ、再生します。

(2)  を押します。

- オーディオ操作画面が表示されます。

(3) **AUX** にタッチします。

- AUX画面が表示されます。
- オーディオシンプルメニューに **AUX** を設定していない場合は、**その他** にタッチしてから **AUX** にタッチします（P.7-3の **1** 参照）。
- ポータブルオーディオの再生音がスピーカーから出力されます。
- 再生中に  を押すとAUX操作画面が表示されます。



3 ポータブルオーディオを終了する



(1) を押すか、他のオーディオモードに切り替えます。

●もう一度 を押すか、**AUX** にタッチすると再生が再開されます。



お知らせ

- AUXモード中にAUX接続コードを抜き差しすると、雑音が発生しスピーカー破損の原因になる場合があります。必ず本機の電源をOFFにするか、他のモードに切り替えてから行ってください。
- AUXモード中にポータブルオーディオの電源を切り替えると、雑音が発生しスピーカー破損の原因になる場合があります。必ず本機の電源をOFFにするか、他のモードに切り替えてから行ってください。
- 接続された機器によって出力レベルが異なりますので、音量にご注意ください。
- 接続した機器の入力音量が大きい場合は、音が歪む場合があります。この場合は、接続した機器側で音量を調整してください。
- AUXモード中に音量を調整すると、AUXモード用の音量レベルとして記憶させることができます。
- 本機の電源がONの状態の時にAUX接続端子からコードを抜く、または本機の電源がOFFの状態の時にAUX接続端子からコードを抜いてそのまま本機の電源をONした場合、音量は初期設定値に戻ります。
- 本機に接続したポータブルオーディオの音量を変更したときは、本機との接続を解除したあと、音量をもとに戻してください。
- ポータブルオーディオの電源は、ポータブルオーディオに付属されているバッテリーなどを使用してください。お車に装着されているシガライターソケットやアクセサリソケットなどで充電しながら再生すると、雑音が出ることがあります。

ポータブルオーディオ機器を接続して使う (AUX)

テレビ・オーディオ